

授業科目	看護管理と研究	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	患者の質の高い看護ケアの提供のための、看護管理と看護研究の基礎的知識を習得する。								
回	主題	授業内容				授業方法		担当教員(講師)	
1	看護管理とは	(1)管理のサイクル (PDCAサイクル) (2)看護部門の組織と職務 (3)看護管理部門の役割				講義		外部講師	
2	看護部の管理	(1) 人事管理 (2) 業務管理 (3) 職員教育				講義			
3									
4									
5	各看護単位での管理	病棟における管理				講義		内部教員	
6	スタッフに求められる管理的役割	リーダーシップとマネジメント				講義			
7	研究とは	(1)看護における研究 (2)研究のプロセス (3)研究における倫理				講義			
8	文献検索	(1)文献とは (2)文献検索の方法 (3)医中誌Webを用いた文献検索 (4)最新看護索引Webを用いた文献検索				講義 演習			
9	研究デザイン	(1)量的研究 (2)質的研究				講義			
10	研究をクリティークする	(1)研究論文をクリティークするとは (2)量的研究をクリティークする (3)質的研究をクリティークする				講義 演習			
11	論文のまとめ方	(1)論文の構成と書き方 (2)学会別の投稿論文規定 (3)引用文献と参考文献 (4)ケーススタディ論文執筆要領				講義			
12									
13	ケーススタディ論文の作成	ケーススタディ論文の作成 (1)研究計画書の作成 (2)ケーススタディ抄録と論文の作成 (3)プレゼンテーション				講義 演習			
14									
15	定期試験(90分)							外部講師 内部教員	
教科書、参考書等		系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践〔1〕看護管理, 医学書院, 2026 系統看護学講座 別巻 看護研究, 医学書院, 2026							
評価方法		学習確認テスト、応用問題、課題レポートにより総合的に評価する。							
履修上の注意点		臨地実習で実践した看護を、ケーススタディ論文にまとめます。 論文は、「ケーススタディ論文執筆要領」に基づき作成します。 また、プレゼンテーション用の資料（P Cのパワーポイントを用いてスライド）を作成します。							

授業科目	臨床看護技術Ⅱ	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	後期
科目目標	対象の症状や状態に合わせた援助を実践できる能力を身につける。 状態の変化に対し必要な処置を判断し実践できる能力を身につける。 多重課題から優先順位を決定し看護を実践できる能力を身につける。								
回	主題	授業内容				授業方法		担当教員(講師)	
1	臨床推論と臨床判断	臨床推論と臨床判断について				講義		内部教員	
2	患者の変化に基づく臨床判断と看護の実践①	消化器症状のある患者の展開 1) 症状の観察 2) フィジカルアセスメント 3) 臨床推論・判断				GW 演習			
3									
4		脳・神経系症状のある患者の展開 1) 症状の観察 2) フィジカルアセスメント 3) 臨床推論・判断				GW 演習			
5									
6		循環器症状のある患者の展開 1) 症状の観察 2) フィジカルアセスメント 3) 臨床推論・判断				GW 演習		外部講師	
7									
8		呼吸器症状のある患者の展開 1) 脳血管障害のある患者の観察 2) フィジカルアセスメント 3) 臨床推論・判断				GW 演習		内部教員	
9									
10		多重課題と優先順位について				GW 演習			
11									
12		患者の変化に基づく臨床判断と看護の実践②	複数患者の対応 症状・状態・状況を判断し、必要な看護の実践 1) 診療の補助技術 2) 医療機器使用時の日常生活援助				シミュレーション		内部教員
13									
14									
15									
教科書、参考書等		配布資料 参考書は講義時に提示する							
評価方法		授業の取り組み、課題レポート、リフレクション、パフォーマンス評価で総合的に評価する。							
履修上の注意点		・講義の内容や演習について熟知し理解に努めること。 ・看護技術において、当校の定める看護技術到達基準を目指すこと。							

授業科目	災害・国際看護	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	前期		
科目目標	看護の対象をグローバルな視点から捉え、世界で生じている健康問題と支援の基本を学び、国際看護の果たす役割と課題について考える。										
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）				
1	国際救援とは	1）国際救援のあり方 ・国際人権法と国際人道法 2）国際的に活動する為の道 ・国際協力とは ・国際医療協力活動の経験から				講義	外部講師				
2	国際看護のすすめ	1）国際看護を学ぶ意義 ・看護の対象と看護の役割 2）看護が果たす役割 3）看護活動の実際（災害時の援助）				講義	外部講師				
3	グローバルヘルス	1）世界の健康問題の現状 2）保健指標と環境・健康問題 3）国際保健医療と福祉との関係 4）活動の実際				講義	外部講師				
4	国際保健医療協力活動	1）開発途上国での経験から 2）看護に求められる異文化理解				講義	外部講師				
5	国際保健医療協力活動	1）開発途上国での経験から 2）日本における国際看護の課題				講義	外部講師				
6	災害医療の基礎知識	災害看護の歩み 災害医療の特徴				講義	外部講師				
7		C S C A T T T トリアージ 災害サイクルから考える災害医療				講義					
8		災害拠点病院の役割り 災害派遣医療チーム（DMAT）				講義					
9	災害看護と法律	災害と基本的人権 災害救助法・災害対策基本法 被災者支援制度				講義					
10	トリアージの実際	外傷のフィジカルアセスメント トリアージの方法				講義 演習					
11	応急処置の実際	包帯法、保護・固定、止血、要救護者の 保温、搬送方法				講義 校内実習					
12											
13	災害とこころのケア	災害時のこころのケア（実際の救助活動 をとおして）				講義					
14	国内外の救助活動	国内外の医療救援活動 被災地派遣での活動				講義					
15	定期試験(90分)						外部講師				
教科書、参考書等		系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践〔3〕災害看護学・国際看護学, 医学書院, 2026									
評価方法		定期試験、校内実習の参加状況を総合的に評価する。									
履修上の注意点											